

▼九州

倉迫一朝 前会長のこと

重信 実男(UMK)

令和4年7月、私達九州民放クラブ宮崎で、6期12年会長を務められた倉迫一朝さんが亡くなられた(享年86歳)。

倉迫さんは会長の傍ら、川柳同好会にも所属されていた。

お題「降る」

春の雨 墓地に傘さす 吾独り

令和元年6月作

倉迫さんは昭和11年、旧満州で生誕。10歳の時に日本(大分県中津市)に引揚げ。中津南高校時代は美術部、映画部に所属。熊本大学法文学部に進学。昭和35年にMRT宮崎放送に入社。ラジオ・テレビの番組制作で数々の作品を残されている。また、著書もある。

退職(平成8年)間近の頃から幼少時に育った満州の訪問を開始。その回数は延べ10回に及ぶという。

また、絵心もあり、ハルビン・吉



故 倉迫一朝氏

林・牡丹江などの満州や日本のふるさとだった中津、さらには日常での花や奥様の肖像など描かれていた。歌も歌謡集を自作されるほどお好きで、宴会等で披露されていた。

親の背中を見て育った子息お二人は、長男がNHKで番組制作を、次男は舞台演出家として頑張つていらつしやる。

わが民放クラブ宮崎も、倉迫さんの遺志を継いで、皆が楽しく集えるものにせねばと思つている。

※九州民放クラブ宮崎の会報10月号で倉迫一朝さんの特集を組んでおり、ホームページでもご覧になれます。

<https://88nmc.xyz/report/>



『菊とフリージア』



『青衣の女』